



# 東広会ニュース

4月号

2009年(平成21年)

Vol.58

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5  
JR恵比寿ビル14F

東日本鉄道東京広告会  
電話 03(5447)7928  
E-MAIL info@tokokai.jp

## J企交媒局「2008年度売上」まとまる

J企交交通媒体局2008年度売上実績がまとまった。売上高は前年度を下回り440億9464万円、前年比95.1%となった。車両メディアは、265億1817万円、前年比94.3%、駅メディアは、167億9134万円、前年比93.7%となった。

■車両メディア(実績265億1817万円、前年比94.3%)

「中づり」は、4月より新商品として販売を開始した「女性専用車中づりジャック」が好調であったものの、出版社の出稿減および大口出稿の減少等により前年度を下回った。

「まど上」は人材派遣業の出稿減および大口出稿の減少等により前年度を下回った。

「ステッカー」は、掲出路線を拡大したことおよび新たに設定した「6扉車限定ツイinstテッカー」の販売等により前年度を上回ったものの、「ドア横新B」は前年度を下回った。

「車体広告」は、新商品「山手線・大坂環状線セット」への中国政府観光局・法務省・任天堂の出稿や東芝および審査基準の見直しによるJRAの大口出稿があったものの、需要減により前年度を下回り、「ADトレイン」も前年度を下回った。

「トレインチャンネル」は、中央線全編成導入および2007年12月から京浜東北線への導入開始、各種商

品の見直しを実施し、販売も堅調に推移した。

■駅メディア(実績167億9134万円、前年比93.7%)

「駅ポスター」は新商品の販売、「特別企画商品」の設定・販売等を実施したものの、全体的な出稿低迷により前年度を下回った。

「SPメディア」は、「秋葉原駅中央改札内壁面ツイinstシート広告」「恵比寿駅東口改札内フラッグ広告」「品川駅中央改札内アドピラー広告」等の新規媒体を開発したものの、駅ポスター同様、全体的な出稿低迷により前年度を下回った。

「サインボード」は、竜王・蒲田・立川・武蔵小金井・国立駅・西府(新駅)・西大宮(新駅)等で駅改良工事にもなう媒体開発、駒込・川崎・蒲田・新宿・石川町・新松戸等で媒体整備(サインボードリニューアル)、JR20周年施策と連動した「ベンチ広告」

「駅周辺案内図広告」のリニューアル、「サインボードNew山手20セット」の開発・販売等により、増収となった。

### ■増収への取り組み

新たな「企画商品」や広告主ニーズに対応した「オリジナル商品」を設定し販売した。また、公営競技、ノンバンク以外の貸金業、FX、QRコードの審査基準の見直しを図り、JRAより車体広告、みずほ銀行より中づり・まど上の大口出稿、クリック証券よりドア横新B、リクルートよりQRコードを使用したアドストラップの出稿があった。

東京駅で展開している「デジタルポスター」は、3月末に品川・横浜駅に展開を拡大した。また、東京駅の耐震工事等にあわせて大規模な媒体リニューアルを実施し、4月より展開する。

<2008年度実績>

(単位:百万円)

媒体	2008年度実績	2007年度実績	前年比	増減
車内ポスター	21,035	23,376	90.0%	-2,341
ADトレイン等	956	1,086	88.1%	-130
車体広告	847	1,012	83.7%	-165
トレインチャンネル	3,680	2,651	138.8%	1,029
車両メディア計	26,518	28,124	94.3%	-1,606
駅ポスター	4,171	5,060	82.4%	-889
SPメディア	2,501	2,847	87.8%	-346
サインボード	9,148	9,062	101.0%	87
フリーペーパーラック 店舗ラッピング	971	953	101.9%	18
駅メディア計	16,791	17,922	93.7%	-1,130
その他*	785	343	229.0%	442
合計	44,095	46,389	95.1%	-2,294

\*デジタルポスター・ステーションチャンネル・SuiPomini・オレンジカード・調査等

「デジタルポスター」が3駅に設置拡大!

2008年7月より、東京駅八重洲南口コンコースにて「液晶ディスプレイ」を用いた広告媒体として試行的に設置された「デジタルポスター」は、従来の紙ポスターに替わる「デジタルサイネージ」として、携帯通信網等の無線技術により、時間帯別や曜日別の表示を行い、効率良くかつタイムリーに広告展開が行える新たなメディアとして注目されている。

この「デジタルポスター」は昨年10



東京駅



品川駅



横浜駅



横浜駅

月より商品化され、3月30日(月)より、東京駅に加えて新たに品川駅、横浜駅に設置拡大されネットワーク化された。

東京駅では八重洲京葉通路で連続する5本の柱に計10面を設置、品川駅では2本の柱に計8面、横浜駅では中央通路に面した改札正面の柱に計5面を埋め込み、お客様の導線に沿って、より高い広告訴求を目指している。

J企では、今後とも引き続き、デジタルポスターの設置拡大を推進していくとのことである。

■「デジタルポスター」ネットワーク概要

1. 設置箇所 3駅23面
  - (1) 東京駅京葉通路(5本10面/65インチ) ※八重洲南口より移設
  - (2) 品川駅中央改札内(2本8面/65インチ)
  - (3) 横浜駅中央通路(5本5面/52インチ)
2. 放映時間 5:00~24:00
3. 特徴
  - (1) フルハイビジョン規格の縦置きモニターに静止画を表示。
  - (2) 1分間に静止画を最大6枚まで露出することが可能です。
  - (3) 曜日別・時間帯別にコンテンツの変更ができます。

山手複数駅でサンプリングイベント

山手線各駅でアサヒ飲料「スポベジ」サンプリングイベントが展開された。展開は、上野駅・恵比寿駅(4月7日(火)8日(水))、品川駅・渋谷駅(4月9日(木)10日(金)) ※渋谷駅は「ランキンランキン」で展開、新宿駅・池袋駅(4月13日(月)14日(火))で行われた。



▲▶池袋駅で実施されたサンプリングイベント



「交通広告グランプリ2009」  
作品募集締め切り迫る!

今年で21回目を迎える、(株)ジェイ  
アール東日本企画が主催する「交通広  
告グランプリ」の応募の締め切りが迫  
っている。

応募対象は、2008年4月1日  
から2009年3月31日までに、J  
企交通媒体本部が販売・管理を行って  
いる駅及び車両(「JR東日本」「つく  
ばエクスプレス」「臨海高速鉄道」「ゆ  
りかもめ線」及び「JR貨物」)に掲出  
された交通広告作品となっており、  
企画性・デザイン性に富んだ交通広告  
作品を広く募集している。

応募資格は、上記応募対象に投稿  
された広告主・広告会社・制作会社及  
び制作者。

部門は、「駅ポスター部門」「車内ポ  
スター部門」「サインボード部門」「車  
体広告部門」「企画部門」の計5部門  
で募集。各部門から「最優秀部門賞  
(1点)・優秀作品賞(5点または3  
点)」、部門を問わず全ての応募作品  
の中から「グランプリ」を1点、「JR  
東日本賞」を1点選出する。

応募締め切りは2009年5月1  
日(金)。

応募要項の詳細と応募用紙のダウ  
ンロードは、J企ホームページ内ニ  
ュースリリースで公開されている。

お問い合わせ先

(株)ジェイアール東日本企画 交通媒  
体本部 交通広告グランプリ事務局  
担当・小柴・井波 03・5447・7  
880

山手25駅50箇所に  
ゲートウェイメディア

山手線内(中央総武線各駅停車含  
む)25駅の改札口50箇所に、アサヒ飲  
料(株)「十六茶」ゲートウェイメディア  
が4月1日(水)から登場した(4月14日  
火まで)。高さは2・1メートル。



「第6回東京屋外広告コンクール」  
受賞作品「東京駅アートロード」に展示

東京屋外広告コンクールは、都市  
景観と調和した、優れたデザインの  
屋外広告物を表彰もので東京都が36  
年にわたり実施してきた「東京屋外広  
告コンクール」を引き継ぎ、平成10年  
度に東京屋外広告協会が第一回を実  
施、以降隔年毎に実施され、今回が  
第6回目。今回も多くは交通広告媒  
体が受賞したが、その受賞作品が東  
京駅アートロードに展示された(4月

13日(月)～26日(日)。

対象部門は4部門に分かれ、第一  
部門…建築物の屋上に設置された屋  
外広告物、第二部門…第一部門以外  
の屋外広告物(車内広告を除く交通広  
告を含む)、第三部門…町並みを構成  
する屋外広告物、第四部門…車体利  
用広告、となっている。

特に近年屋外広告は、技術の進歩、  
都市景観に関する都民の意識が高ま  
っており、都市景観との調和が図れ、  
観光、防災、交通施策など連携が求  
められている。



第4部門では  
JRの車体廣  
告が3点入賞

東京駅アート  
ロードに展示

東広会「第5回理事会」を開催

東日本鉄道東京広告会は、第5回の理事会を平成21年4月9日(木)14時00分からJ企会議室で開催した。

理事会での主な議題

- 1. 平成20年度収支実績及び平成21年度予算(案)について
- 2. 第6回定期総会の開催について

- (1) 総会資料
- (2) 開催概要
- (3) 総会・懇親会の進め方

について審議され承認された。報告事項では

- ① 入会・退会状況について
- ② 平成20年度第4回理事会議事録が報告され承認された。



第5回理事会 (4月9日開催)

J企「交通媒体局」が新たな組織「交通媒体本部」としてスタート

(株)ジェイアール東日本企画では4月1日に組織改正が行われた。

交通媒体局においては媒体社としての位置付けをより明確化にするため、縦の組織を横の組織に大きく組み替え「交通媒体本部」に改正し、交通広告の総合力を発揮できる新たな組織体制でスタートした。

J企「交通媒体本部」の新体制

【交通媒体本部】  
本部長 近藤 雄二氏

次 長(総括) 田之上 恵氏

次 長 星野 雅央氏

次 長(兼企画部長) 古川 義夫氏

【営業部門】  
販売促進部 部長 末吉 智秋氏

業務推進部 部長 山本 剛久氏

【管理部門】  
メディア第一部 部長 佐藤 富雄氏

メディア第二部 部長 神谷 泰良氏

設備・安全対策部 部長 小熊 隆文氏

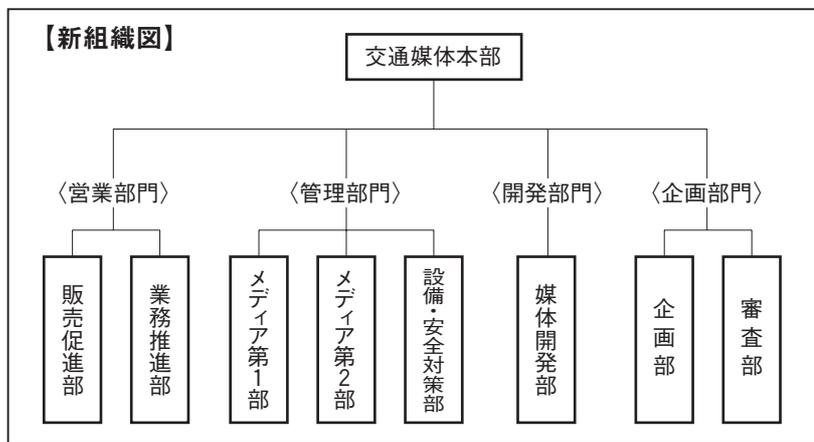
【媒体開発部門】  
媒体開発部 部長 山本 孝氏

企画部 部長 古川 義夫氏

審査部 部長 中尾 規生氏

※なお、次長の中江秀雄氏はJR局次長、駅ポスター・SP部長の下田忠雄氏は東広会事務局へ異動となった。

新体制(組織図)は次のとおり



東広会からのお知らせ

4月1日から下田忠雄氏(J企)が事務局へ加わりました。よろしくお願いします。

平成21年度第1回「実車訓練」開催日のお知らせ

広告意匠交換を行う作業員の安全を守る、広告作業関係者を対象にした「広告作業安全講習会(実車訓練)」の第1回開催日が左記のとおり決定した。

【平成21年度第1回実車訓練日】

平成21年6月11日(木)

場所は東大宮訓練センターで行われる。現地では実際に電車を走らせ安全に対する必要な知識が体感できる。

※詳細は東京メディア・サービス設備管理部安全指導課

電話(03・5391・1246)へ

会員名簿変更

・社名変更 (4月1日付)

(新)株アトレ

(旧)東京圏駅ビル開発(株)

・代表者変更 (3月24日付)

(株)ブランドウ・ジャパン

代表取締役社長 大槻 倫嗣氏

・所在地変更 (4月20日付)

(株)国連社

〒160・0004

東京都新宿区四谷4・34・1

新宿御苑前アネックスビル4F

FAX 03・3225・6701

※電話番号は変更なし